

2013年3月期第2四半期 決算説明会

2012年11月6日(火)

船井電機株式会社

証券コード 6839

. 社長挨拶

1. 上期(4-9月)の概要
2. 下期(10-3月)の見通し
3. 下期および通期の計画
4. 成長戦略
5. 現況アップデート

	前上期実績	当上期計画	当上期実績
売上高	1,406億円	1,020億円	890億円
営業利益	21億円 (1.5%)	11億円 (1.1%)	14億円 (1.6%)
期中平均レート (対USドル)	79.15円	80.00円	78.96円

総括 売上高・営業利益とも計画を下回る

ディスプレイ事業



計画をやや下回る

デジタルメディア事業



国内向けBDレコーダの市場低迷等により、計画を大幅に下回る

オフィスソリューション事業



競争激化の影響等により、計画を下回る

景気動向

米国 …… 緩やかな回復傾向
 欧州 …… さらなる景気低迷リスク
 中国・インド …… 減速懸念が顕在化
 日本 …… 緩やかな回復傾向も下振れ懸念

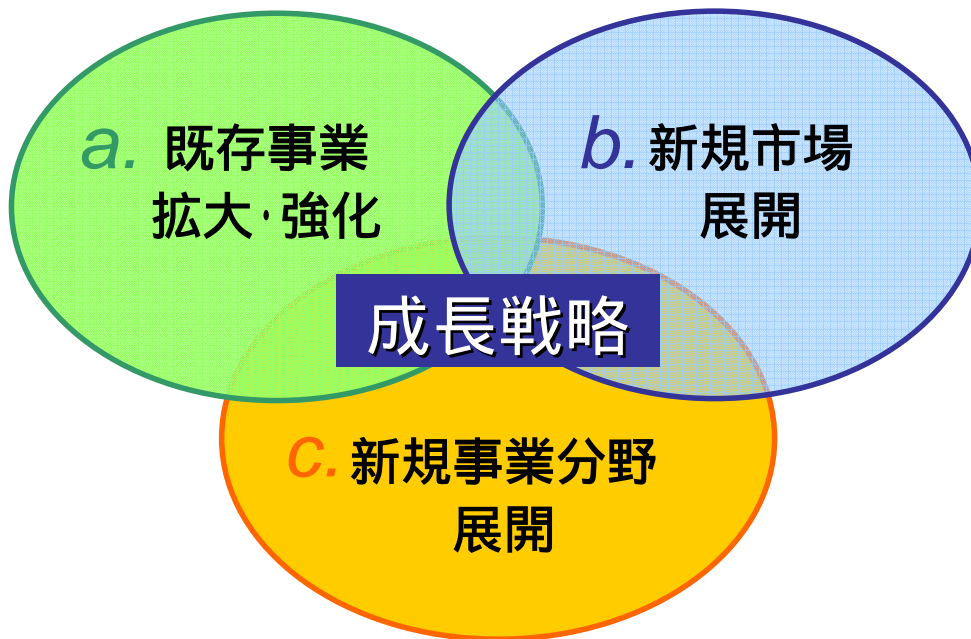
業界動向

TVのコモディティ(日用品)化が進行
 スマホ、タブレットの急成長と、AV・白物家電・車載機器との融合加速
 先進国は市場成熟化 / 新興国は成長が見込まれるものの鈍化傾向
 日本市場ではTV、BDレコーダが前年比大幅な落ち込み

3. 下期および通期の計画

	上期実績	修正計画	
		下期計画	通期計画
売上高	890億円	1,160億円	2,050億円
営業利益	14億円 (1.6%)	11億円 (0.9%)	25億円 (1.2%)
期中平均レート (対USDドル)	78.96円	78.00円	78.48円

下期の為替想定レート見直し(\$=¥80 ¥78)
 および液晶テレビ/ DVD関連機器の競争激化等を勘案し、
 通期売上高計画を期初の2,290億円から2,050億円に修正



全社的取り組み

コスト競争力強化を通じて
売上・収益を拡大

売上拡大策

1. 顧客との関係強化
2. 事業領域の拡大
3. 新規市場の開拓推進

収益拡大策

1. 開発設計の海外シフト加速
2. 生産拠点の再編
3. 特許ポートフォリオの強化
4. 固定費削減の徹底

ディスプレイ事業

徹底したPSI管理の遂行
タイ工場の増強・競争力強化

デジタルメディア事業

第5世代BDレコーダの量産開始
新規製品の開発

オフィスソリューション事業

LBPの量産開始
Android端末の量産開始
自社開発プリンターの事業化

有力小売業とのさらなる関係強化

WALMART社のサプライヤー賞を相次ぎ受賞



『2012年 サプライヤー・コラボレーション賞』

企画、設計、生産、出荷、在庫管理、販売サポートの全てにおけるWALMART社への協力と、同社の売上向上に貢献したサプライヤーに贈呈される年間賞

電気製品分野の50社以上のサプライヤーの中から、唯一の受賞



『2012年1Q サプライヤー・アワード・オブ・エクセレンス』

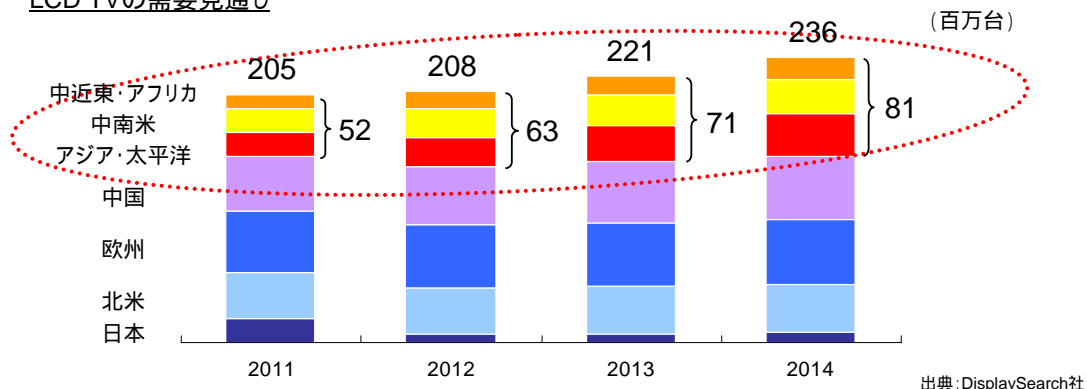
高品質且つ魅力ある製品を供給することでWALMART社の業績向上及び顧客満足度に多大な貢献をしたサプライヤーに四半期ごとに贈呈される賞。今回が10回目の受賞。

電気製品分野の約30社のサプライヤーの中から、唯一の受賞

インドでの販売開始。タイを含むアジアや中近東へ展開
中南米向けの売上が急速に拡大

今後需要拡大が見込まれる新興国市場に積極的に展開

LCD TVの需要見通し



事業領域の拡大

PHILIPSオーディオアクセサリ製品の
北米市場における独占的販売権を獲得

(2012年9月から取り扱い開始)



PHILIPS

対象地域・・・アメリカ、カナダ

対象製品・・・オーディオとアクセサリ製品

(ヘッドフォン、ドッキングスピーカー、ポータブルオーディオ、ポータブルビデオなど)

LED照明事業について

品質とコスト競争力を武器に、今後ワールドワイドに販売展開

LED電球



LEDスポットライト



直管型LEDランプ

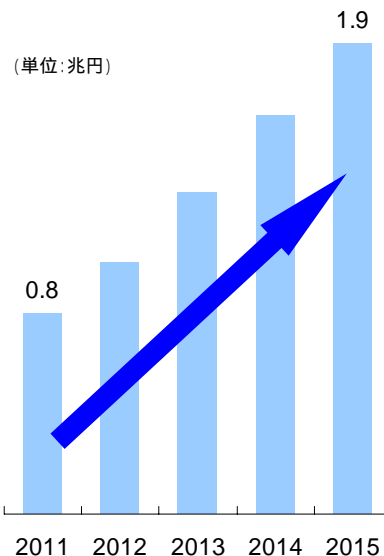


大型LED照明



LED照明 ワールドワイド市場規模予測

(単位:兆円)



船井電機調べ (2012年10月現在)

1 環境・エネルギー分野

LED照明の中国販売開始 / 日本・海外市場へ展開
エコ材料の生産開始

2 ネットワーク分野

Androidタブレット端末の生産・販売開始
Androidスティック型インターネット端末の生産・販売開始予定

3 デバイス・モジュール分野

高密度実装技術の獲得
MEMS技術応用製品の開発進行

MEMS・・・Micro Electro Mechanical Systems
微小電気機械素子およびその創製技術

. 決算概要(連結)

1. 第2四半期(12年7-9月) 決算概要
2. 第2四半期累計(12年4-9月) 決算概要
3. 機器別売上高
4. DVD関連機器の売上高
5. テレビ関連機器の売上高
6. 仕向地別売上高
7. 営業利益増減要因
8. 財務の状況
9. 棚卸資産
10. 設備投資額・減価償却費・研究開発費
11. 当期業績予想の修正
12. 当期の機器別売上高予想

1. 第2四半期(12年7月-9月)決算概要



(単位:億円)

	前期実績	当期実績	前年同期比 ()は増減率
売上高	750	490	260 (34.7%)
営業利益 (営業利益率)	17 (2.4%)	5 (1.0%)	22 5 (1) +8 (3)
経常利益 (経常利益率)	4 (0.6%)	10 (2.0%)	14 1 (2) +9 (4)
四半期純利益 (四半期純利益率)	6 (0.9%)	11 (2.3%)	5
期中平均レート (対米国ドル)	77. ⁰⁸ 円	78. ¹² 円	

(1) 為替差損 5 (3) 為替差損減+9、その他 1
(2) 特別損失 1 (4) 法人税等他減+9

月末レート (対米国ドル)	11年6月	11年9月	12年6月	12年9月
	80. ⁷³ 円	76. ⁶⁵ 円	79. ³¹ 円	77. ⁶⁰ 円

14

2. 第2四半期累計(12年4月-9月)決算概要



(単位:億円)

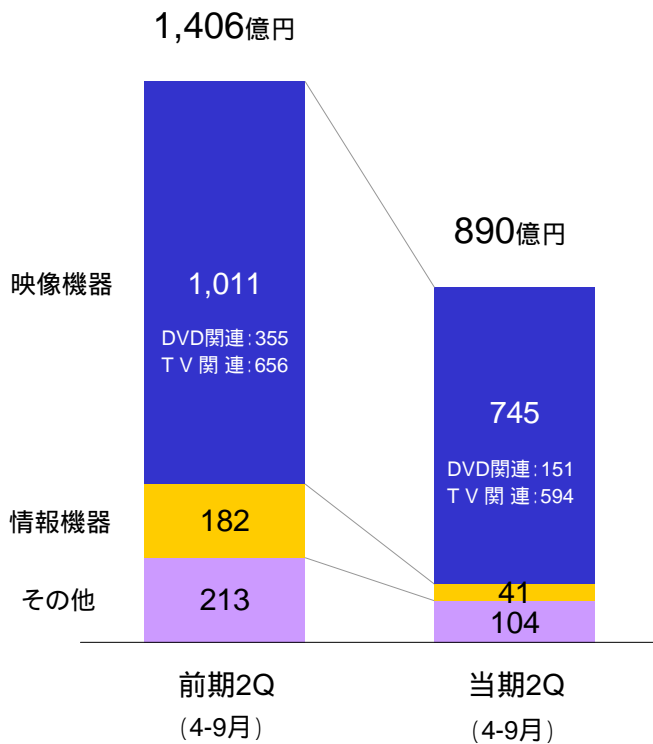
	前期実績	当期計画	当期実績	前年同期比 ()は増減率	計画比 ()は達成率
売上高	1,406	1,020	890	516 (36.7%)	130 (87.3%)
営業利益 (営業利益率)	21 (1.5%)	11 (1.1%)	14 (1.6%)	35 16 (1) ±0 (3)	25 17 (5)
経常利益 (経常利益率)	5 (0.4%)	12 (1.2%)	30 (3.4%)	35 +1 (2) +35 (4)	42 +11 (6)
四半期純利益 (四半期純利益率)	29 (2.1%)	2 (0.2%)	29 (3.4%)	0	31
期中平均レート (対米国ドル)	79. ¹⁵ 円	80. ⁰⁰ 円	78. ⁹⁶ 円		

(1) 受取利息+1、為替差損 17 (3) 受取利息±0、為替差損益±0 (5) 為替差損増 17
(2) 特別損失 2、法人税等他+3 (4) 特別損失増 1、法人税等他減+27、(6) 特別損失増 2、法人税等他減+13
過年度法人税等減+9

月末レート (対米国ドル)	11年3月	11年9月	12年3月	12年9月
	83. ¹⁵ 円	76. ⁶⁵ 円	82. ¹⁹ 円	77. ⁶⁰ 円

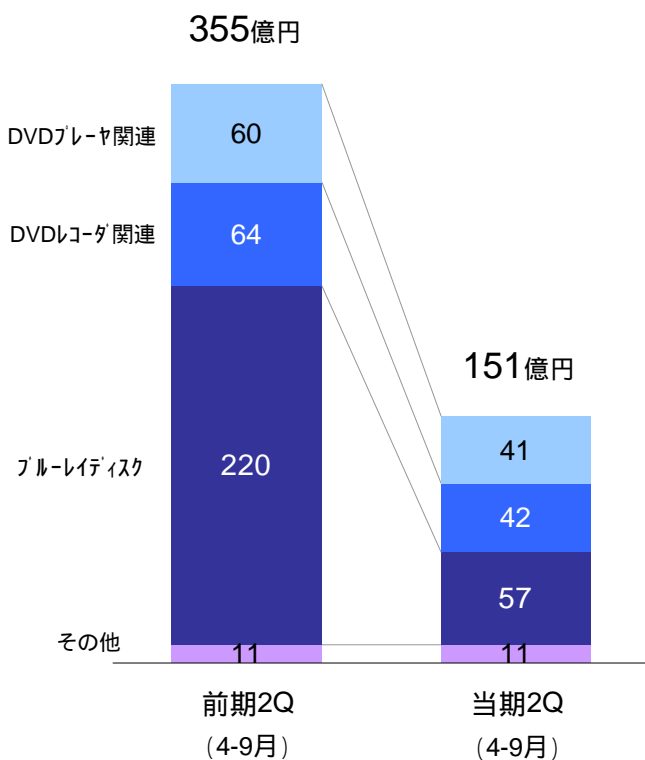
15

3. 機器別売上高



前年同期比	
映像機器	: 266億円 (26.3%)
DVD関連	: 204億円 (57.5%)
TV関連	: 62億円 (9.5%)
情報機器	: 141億円 (77.6%)
その他	: 109億円 (50.9%)
合計	: 516億円 (36.7%)

4. DVD関連機器の売上高



DVDプレーヤ関連 **DVDレコーダ関連**

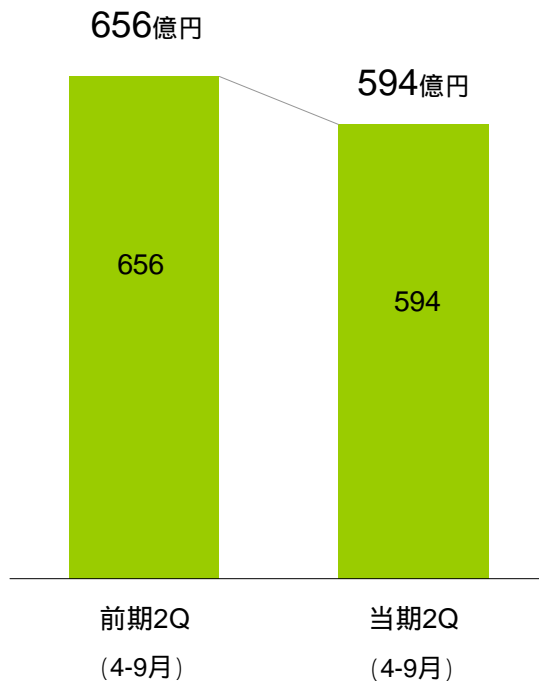
・市場縮小に伴い、プレーヤ、レコーダとも減少

ブルーレイディスク

・プレーヤは増加したものの、レコーダは日本での市場低迷の影響により大きく減少

前年同期比	
DVDプレーヤ関連	: 19億円 (31.7%)
DVDレコーダ関連	: 22億円 (34.4%)
ブルーレイディスク	: 163億円 (74.1%)
その他	: - 億円 (-)
合計	: 204億円 (57.5%)

5. テレビ関連機器の売上高



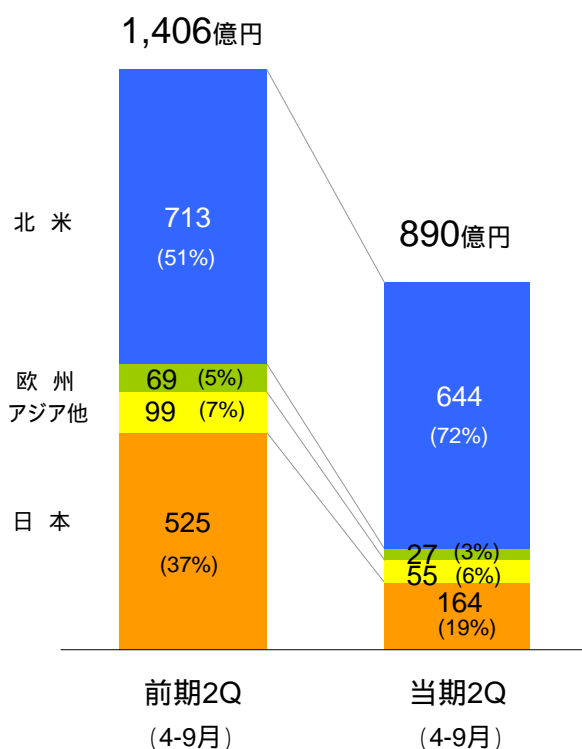
液晶テレビ

・日本における、地上波デジタル放送移行後の市場の冷え込みの影響により減少

前年同期比

液晶テレビ : 62億円 (9.5%)

6. 仕向地別売上高



北米

・情報機器が減少したことに加え、DVD関連製品も減少

日本

・地上波デジタル放送移行後の反動減と市場低迷の長期化により、ブルーレイディスクレコーダ、液晶テレビ、受信関連用機器が減少

前年同期比

北米 : 69億円 (9.6%)

欧州 : 42億円 (61.1%)

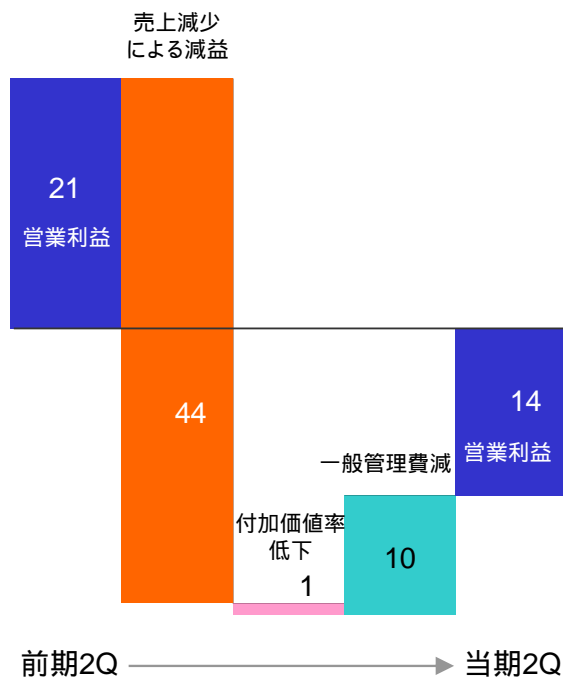
アジア他 : 44億円 (44.4%)

日本 : 361億円 (68.7%)

合計 : 516億円 (36.7%)

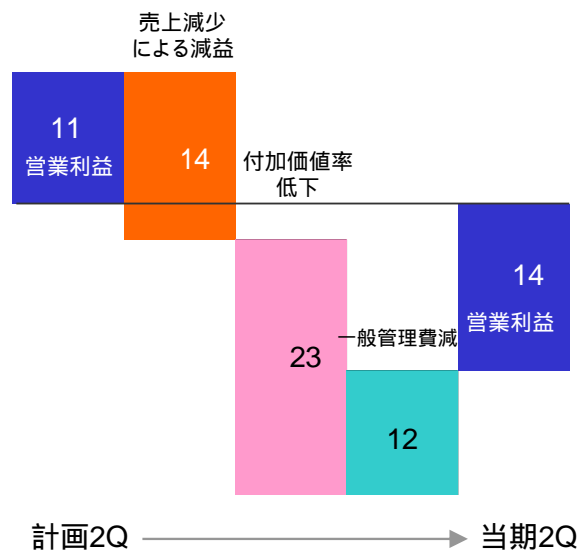
7. 営業利益増減要因

《前年同期比》



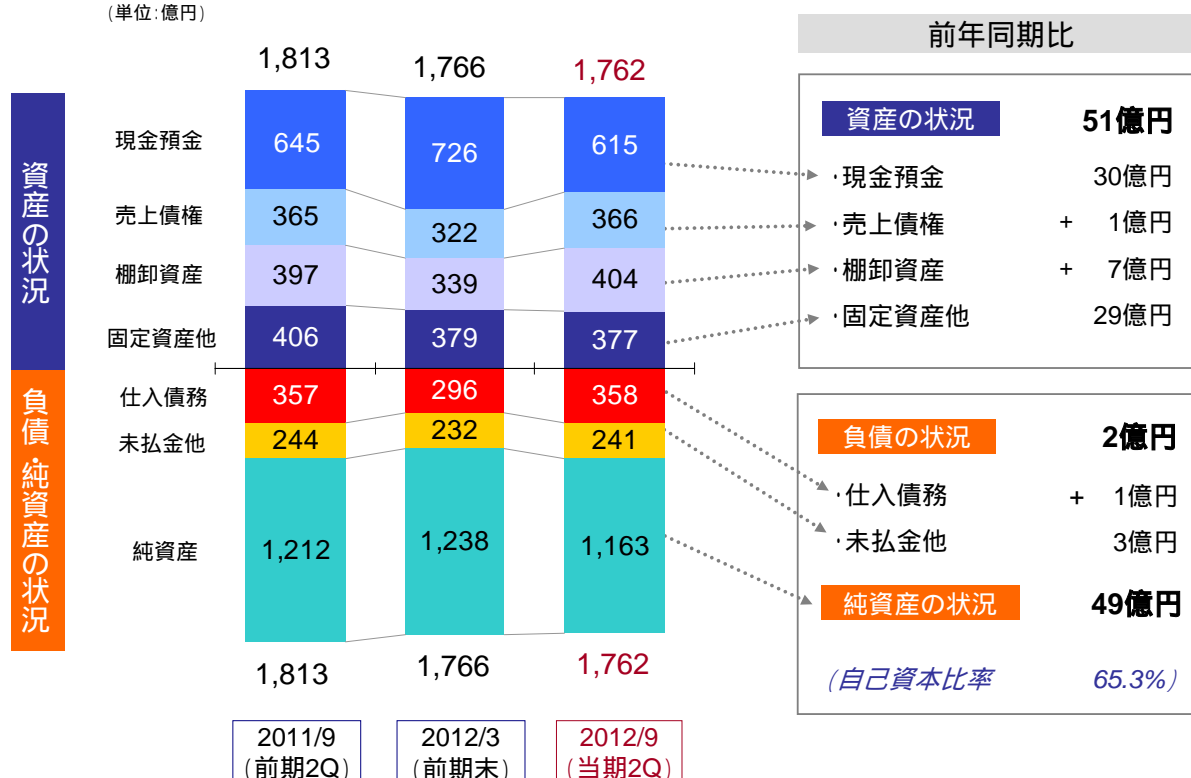
《計画比》

* 付加価値 = 売上 - (売上原価 + 販売費)

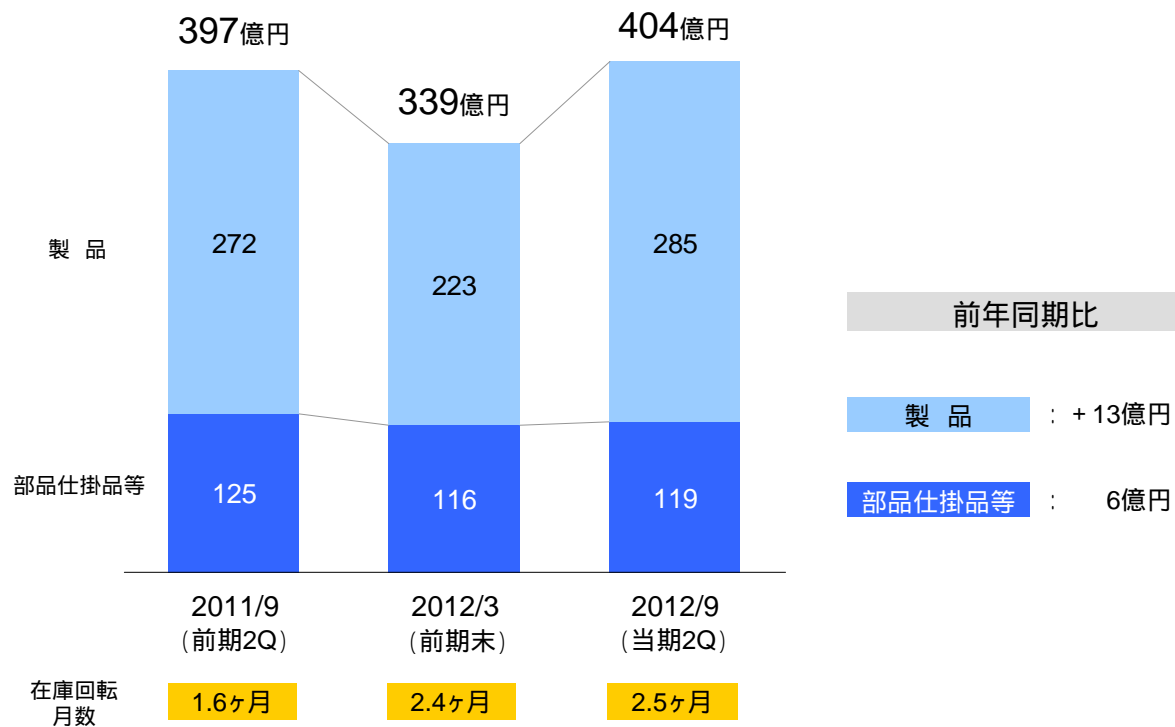


8. 財務の状況

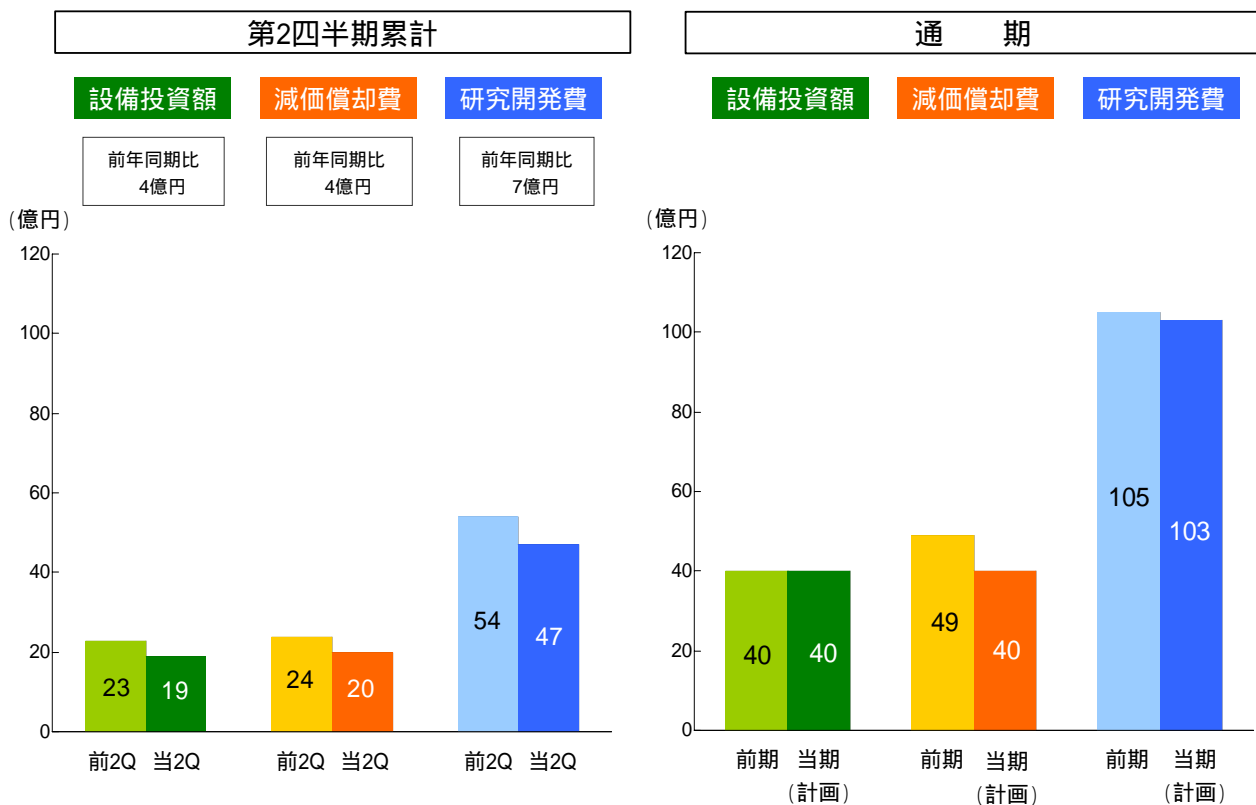
(単位:億円)



9. 棚卸資産



10. 設備投資額・減価償却費・研究開発費



11. 当期業績予想の修正

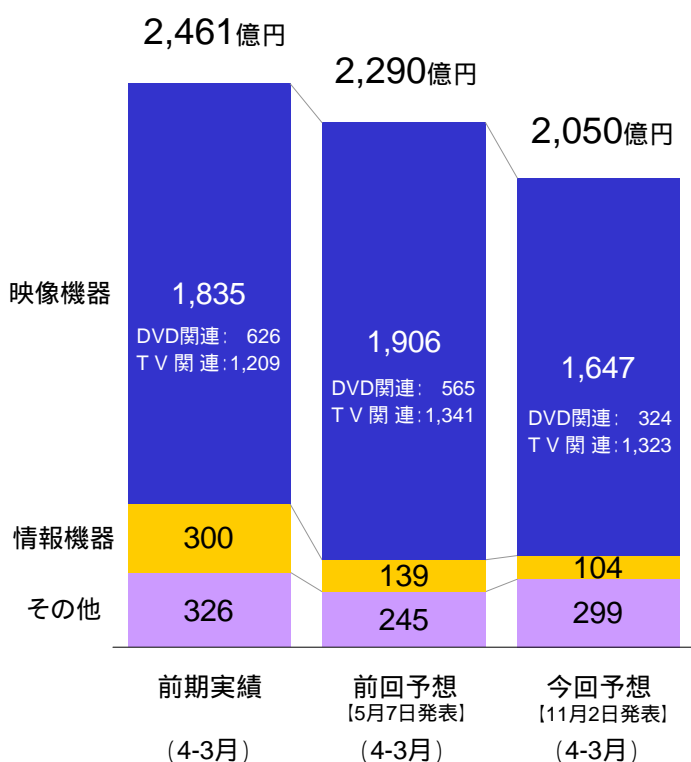


(単位: 億円)

	前期実績	前回予想 (5月7日発表)	今回予想 (11月2日発表)	前年同期比 ()は増減率	前回予想比 ()は増減率
売上高	2,461	2,290	2,050	411 (16.7%)	240 (10.5%)
営業利益 (営業利益率)	4 (0.2%)	40 (1.7%)	25 (1.2%)	29 16 (1)	65 13 (3)
経常利益 (経常利益率)	1 (0.1%)	40 (1.7%)	41 (2.0%)	42 17 (2)	81 +30 (4)
当期純利益 (当期純利益率)	46 (1.9%)	25 (1.1%)	58 (2.8%)	12	83
期中平均レート (対米国ドル)	78.81円	80.00円	78.48円		

(1) 受取利息+2、支払利息 1、為替差損 17 (2) 特別損失 18、法人税等他+1 (3) 為替差損増 13 (4) 特別損失増 11、法人税等他減+32、過年度法人税等減+9 (5) 支払利息減+1、為替差損増 17 (6) 特別損失増 18、法人税等他減+16

12. 当期の機器別売上高予想



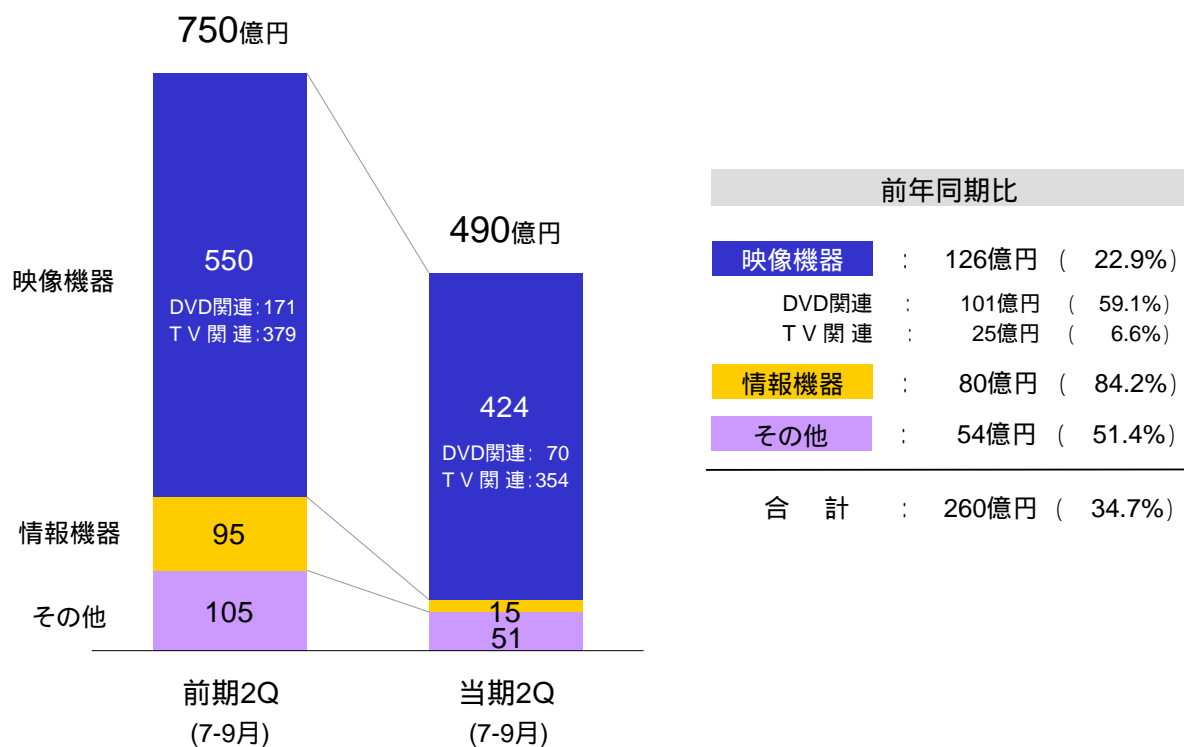
前年同期比	
映像機器	: 188億円 (10.2%)
DVD関連	: 302億円 (48.2%)
TV関連	: +114億円 (+ 9.4%)
情報機器	: 196億円 (65.3%)
その他	: 27億円 (8.3%)
合計	: 411億円 (16.7%)

前回予想比	
映像機器	: 259億円 (13.6%)
DVD関連	: 241億円 (42.7%)
TV関連	: 18億円 (1.3%)
情報機器	: 35億円 (25.2%)
その他	: + 54億円 (+ 22.0%)
合計	: 240億円 (10.5%)

補足資料 (第2四半期(7-9月)決算概要)

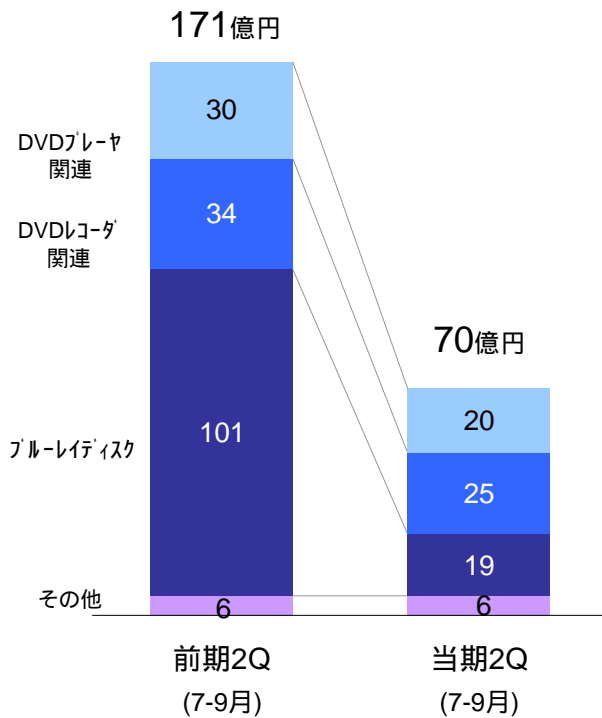
1. 機器別売上高
2. 映像機器の売上高
3. 仕向地別売上高

1. 機器別売上高

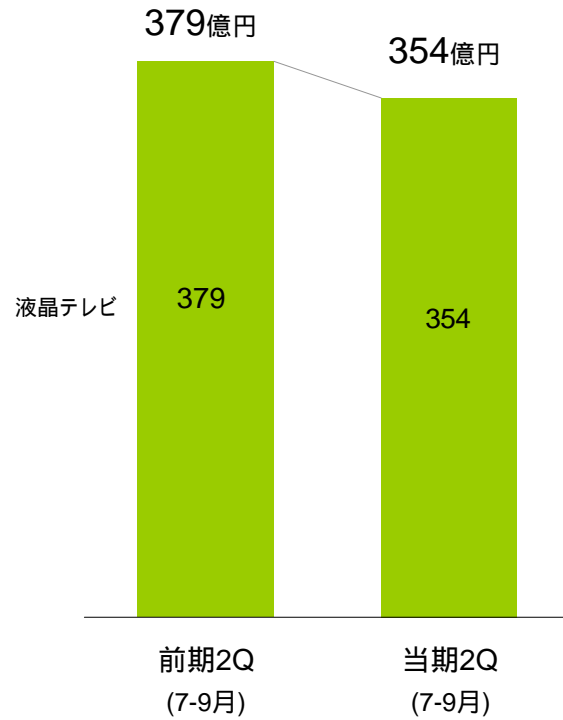


2. 映像機器の売上高

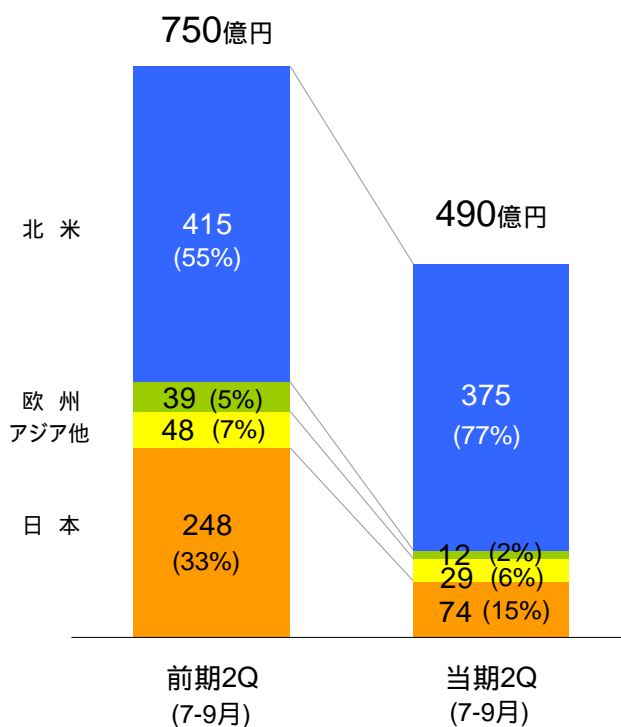
DVD関連機器



テレビ関連機器



3. 仕向地別売上高



前年同期比	
北米	40億円 (9.6%)
欧州	27億円 (69.2%)
アジア他	19億円 (39.6%)
日本	174億円 (70.2%)
合計	260億円 (34.7%)

. 補足資料

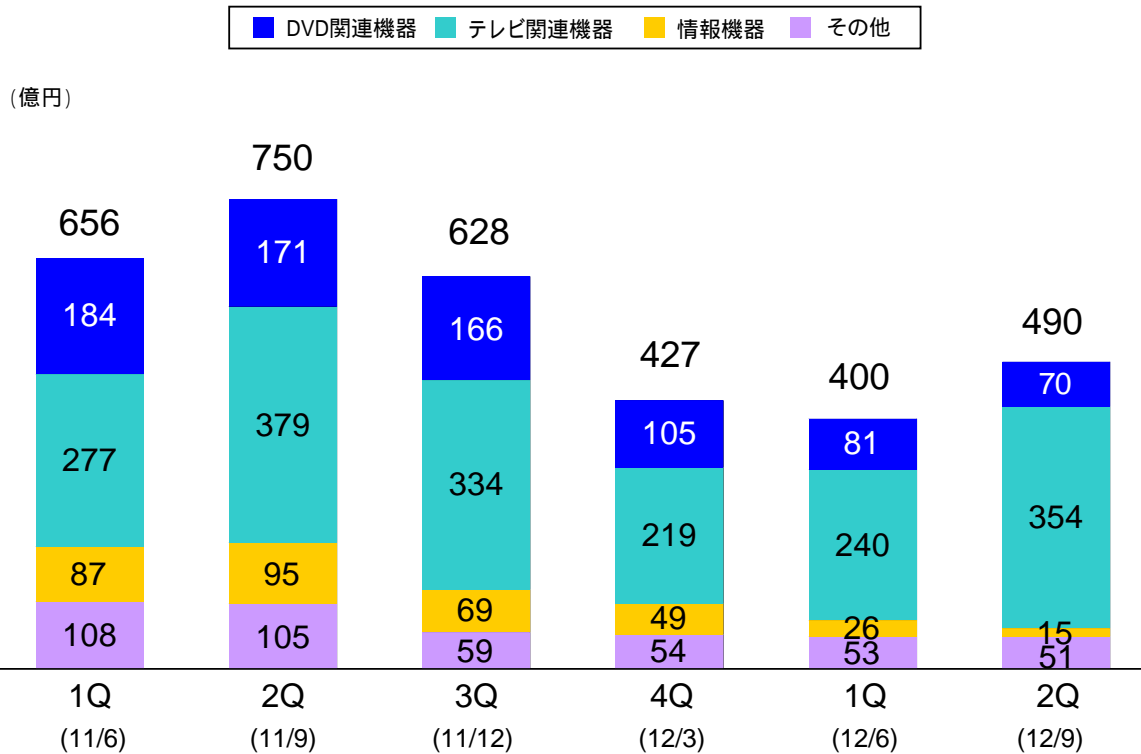
1. 四半期別決算概要
2. 機器別売上高の推移(四半期)

1. 四半期別決算概要

(単位:億円)

	60期				61期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	656	750	628	427	400	490
営業利益	3	17	8	24	9	5
(営業利益率)	(0.5%)	(2.4%)	(1.3%)	(5.8%)	(2.4%)	(1.0%)
経常利益	0	4	8	12	20	10
(経常利益率)	(0.1%)	(0.6%)	(1.4%)	(2.9%)	(5.1%)	(2.0%)
四半期純利益	23	6	5	10	18	11
(四半期純利益率)	(3.6%)	(0.9%)	(1.0%)	(2.4%)	(4.6%)	(2.3%)

2. 機器別売上高の推移(四半期)



注意事項

本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。

